

第4回 食品安全文化の可視化に関する研究会議事概要

日時：令和6年10月25日（金）14:00～17:00

場所：日本マクドナルド株式会社 会議室

次第

1. 開会

2. 議事

食品安全文化に関する情報共有(ケンコーマヨネーズ株式会社 追杉様)

3. 意見交換

食品安全文化測定ツールに対する意見交換

4. 閉会

食品安全文化に関する情報共有：ケンコーマヨネーズ株式会社 追杉様

食品安全文化とリスク評価に関する取り組み

- Culture Excellence(CE)サーベイ結果だけでは具体的なアクションに移すことが難しく、工場長を含め社内で話し合った結果、追加アンケートを実施
- 改善策の効果測定は CE サーベイだけでなく、今後アンケート調査を計画
- ネガティブ要素の改善だけでなくポジティブ要素への着目も重要と認識
- アンケート結果も考慮して工場単位での表彰制度を新設

意見交換

参加者からは、食品安全文化の評価方法やリスク管理に対する具体的な質問が寄せられ、現場での応用事例についても議論が行われた。特に、スピークアップカルチャー（従業員が気づいた問題をすぐに報告する文化）の重要性について質問があり、山梨工場では、従業員が異常を感じた際にはラインを止めるなどの対応を行うことが奨励されていると説明した。

食品安全文化測定ツールに対する意見交換

- No26 私の職場では、食品安全に関する書類や記録、日報などの文書業務の量が適切であると感じています。 Recommendation：評価選択肢として多い、少ないという評価を設定する必要があります。
- No27 私は、自分の仕事を正しく行うことで、安全な商品をお客様に提供できていると実感しています。
- No28 削除
- No29 私は、食品安全を保つために衛生管理のルール（服装、手洗い、入退室、食品の取り扱いなど）を守ることが大切だと思っています。

- No30 私の職場では、何かおかしいと感じたらすぐに作業を止めることができる。
- No31 私の職場では、変化や異常を見つけたときには、すぐに対応している。
- No32 私の職場では、新しい制度、ルール、知識や技術を取り入れて成長し続けることを大切にしています。
- No33 No32 と統合
- No34 私は、自分の作業を振り返り、もっと良い方法がないか考え、提案している。
- No35 私の職場では、食品安全や衛生について気づいたことがあれば、みんなが自由に意見を言える雰囲気があります。
- No36 私たちの職場では、問題があると感じたら作業を止めても責められることはありません。
- No37 削除
- No38 私は業務中に食品安全や衛生面での問題が少しあると感じながらも、そのまま作業してしまうことがある。

今後の開催予定

- 11月29日に開催予定。
- 12月20日に開催予定。